

チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性
ダイズ 81419 系統（飼料）に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えダイズ「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ダイズ 81419 系統」（以下「81419 ダイズ」という。）については、平成 26 年 8 月 4 日付けで遺伝子組換え飼料の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

81419 ダイズには、チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネートに対する耐性を付与するため、改変 *cry1F* 遺伝子、*cry1Ac* 遺伝子及び改変 *pat* 遺伝子が導入されている。

Bacillus thuringiensis subsp. (*aizawai* PS811 株及び *berliner* 1715 株) 由来の改変 *cry1F* 遺伝子及び *B. thuringiensis* subsp. (*kurstaki* HD73 株、*aizawai* PS811 株及び *berliner* 1715 株) 由来の改変 *cry1Ac* 遺伝子によってそれぞれ産生される改変 Cry1F タンパク質及び改変 Cry1Ac タンパク質は、チョウ目害虫に対して殺虫活性を示すことにより、植物にチョウ目害虫への抵抗性を付与する。

Streptomyces viridochromogenes 由来の改変 *pat* 遺伝子によって産生される PAT タンパク質は、除草剤グルホシネートを除草活性のない化合物に変換することにより、植物に除草剤グルホシネートに対する耐性を付与する。

3. 利用目的および利用方法

81419 ダイズの飼料としての利用目的や利用方法は、従来のダイズと相違がない。

4. 諸外国における申請等

申請国	申請・確認年月	申請先
カナダ	2012 年 11 月申請	カナダ食品検査庁（CFIA）
米国	2014 年 2 月確認終了	米国食品医薬品局（FDA）
オーストラリア・ ニュージーランド	2014 年 5 月確認終了	オーストラリア・ニュージーランド 食品基準機関（FSANZ）